

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和 4 年度 第 1 回相模原市スポーツ推進審議会		
事務局 (担当課)	市民局 スポーツ推進課		
開催日時	令和 4 年 1 0 月 2 5 日 (火) 午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 1 時 4 0 分		
開催場所	相模原市役所 会議室棟 2 階 第 3 会議室		
出席者	委員	1 1 人 (別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	9 人 (スポーツ・文化担当部長 他 8 人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	/		
会議次第	1 あいさつ  2 議 題 相模原市スポーツ推進計画の進行管理について  3 その他		

# 審 議 経 過

主な内容は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

## 1 あいさつ

開会に先立ち、スポーツ・文化担当部長からあいさつを行った。

## 2 議題

相模原市スポーツ推進計画の進行管理について

事務局が資料の説明を行った後、次のとおり質疑応答を行った。

### 【基本方針1】

- 法律上の表記である「障害」を採用していることは理解しているが、もし見直す機会があるのであれば、障害を「障がい」とすることで、障害のある方への配慮する姿勢を示すという選択肢もあると思う。この場で決定することではないが、検討の余地があるのであればお願いしたい。（意見）
- 障害者スポーツについて、選手向けの事業は行われていると承知しているが、市民向けの事業が足りない気がする。交流事業をより拡充していただきたい。
- 障害のある人とない人の交流事業であるさがみはら“ゆめ”プロジェクトを、令和3年度に初めて実施した。今後も継続し、交流を推進していく。
- 11月13日にパラスポーツの体験会を開催すると耳にしたが、これは同日開催のねりんピックと関係があるか。
- 横山公園内にて併催イベントとして行うものである。
- 昨年度は事業の中止が多かったが、今年度も中止している事業はあるか。
- 津久井湖駅伝競走大会、相模湖駅伝競走大会を中止とした。
- 指標として用いている市民アンケートの回収率はどの程度か。また、指標として用いるのに適切な有効な数値なのか。
- 回答率は19%で、学問的には誤差数%に収まるため、指標として用いるのに問題はない。また、昨年度から回答方法がWebに変わり、広い世代からの回答

が集まるようになったため、より実情に即した結果になっていると考えている。

- アンケート結果について、概要ではなく詳細がわかるものを資料として添付してほしい。(意見)

### 【基本方針 2】

- 学校体育施設開放事業の推進とは、具体的に市として何をしているか。施設開放は各学校の厚意で行っているものなのか。
- 学校開放は制度で定められているものである。地区によって事情は異なるが、貸出に係る具体的な利用調整は学校や公民館等が担っている。
- 目標値はどのように設定したものか。
- 令和元年度から、令和9年までの上昇値を年で割って定めたものである。
- ボランティア活動を行った割合について、女性のほうが低い理由がわかれば、対策が可能になると思う。
- 女性のスポーツへの参加率を上げれば、全体値としての指標 2 (スポーツに関するボランティアを行った市民の割合) の上昇にもつながると思う。スポーツ施設に託児所等を併設する等、参加しやすくなるサービスの検討が必要かと思う。というのも、女性で子育てに時間をとられ、時間をとるのが難しい傾向がある。
- 自分はスポーツをしなくても、ボランティアであれば参加できるという人も多い。そういった人の活動が本市で活発になると良いと思う。調査だけで終わらず、様々な工夫を検討してほしい。
- ボランティアのボリューム層はリタイアした人、時間的に余裕のある人が多い。ボランティアを指標とする意義としては、スポーツへの参加・関与を高めることでもあると思うので、若い世代でも参加できるような取組を検討されたい。どの世代を重視、という観点ではなく、参加率が低ければその障壁を取り除くという観点も重要かと思う。
- いただいた意見をもとに検討していく。
- 大きな事業だけでも構わないので、各項目の決算の内訳がわかるようにしてほしい。

- 今後の資料の作成にあたって、見せ方を検討する。

### 【基本方針3】

○本市にシンボルスポーツはあるか。

- 今、力を入れているのはロードレース、自転車競技。ただ、他の競技についても、世界で活躍する選手についてSNSで発信する等、広く様々な競技を推進していきたいと考えている。また、青山学院大学の陸上競技部の原監督に相模原市スポーツ宣伝大臣に就任していただいたこともあるため、力を入れていきたい。

○部活動の地域移行について、本市ではどのような検討状況か。

- 市教育委員会を中心に検討中である。

○年に7～8回、小学生の体育を手伝っている。教員たちは体育の指導内容について協力を求めているため、市として支援してもらいたい。自分はボランティアでやっているが、一部有償で行えるような制度があれば良い。

- いただいた意見をもとに検討していく。

○運動が苦手な子にとっては、親子参加できるようなイベントだとありがたいと思うが、親子でスポーツを体験できるようなスポーツイベントはあるか。

- 親子でスポーツを楽しめるイベントとして、10月10日に相模原スポーツフェスティバルを開催し、スポーツチャンバラや体力測定、ニュースポーツの体験など、親子で楽しめるブースを多く出展した。

○全国の小学生の体力テスト結果を見ると、相模原市の数値は低いため、市には、もっと子どもがスポーツに興味を持てるよう取り組んでももらいたい。身近なところにスポーツができる場所があれば、体力向上に繋がり、良いと思う。スポーツレクリエーションパークもあるが、子どもたちだけでは行かない場所だと思うので、より身近な公園等が充実すると良い。(意見)

○住宅街にあるような公園ではボール遊びができない所が多いが、子どもの時こそボールを投げたり取ったりといった遊びで空間認知能力が向上するため、公園でもボール遊びができると良い。(意見)

○窓ガラスが割れる等のボール遊びによる被害を心配する声もあろうかと思う

が、子どもの成長には一定のリスクが発生するものなので、「危険なボール遊びは禁止」等の制限で許可できたら良いと思う。(意見)

- 公園でのボール遊びについては、近隣住民にも配慮しながら検討していく。
- 「スポーツに関する情報の提供」で記載されている、SNSとはどんなものを指しているか。
- 本市の観光・シティプロモーション課の管理する Twitter アカウントでの発信が主である。
- 子どもが Twitter 上の情報を自ら見つけて参加することは稀だと思うので、保護者の世代に響くキラークンテンツを掲載すると良い。
- SNSでの発信について、予算が0となっているが、全く予算を使っていないということか。
- スポーツ関連情報発信のために単独で予算をとっていないため、資料の表記の都合上0になっている。
- 自分の孫もそうだが、学校から帰るとすぐにゲームをする子どもが多い。スポーツは仲間を作ることができる大切なものである。子どもを外に連れ出すような機会の創出が必要だと感じる。
- 勝利第一主義ではなく、長く続けることのできる、将来性のあるスポーツのあり方を子どもたちに伝えていきたい。(意見)
- スポーツが苦手な子もいるが、子どもの頃は体力向上のためにも運動をさせてあげる必要がある。幼い頃から運動をすることで、結果的に市民の健康につながり、市全体の医療費削減といった効果も望める。

#### 【基本方針4】

- ホームタウンチームの試合観戦者のうち、どのくらいの割合の人が有償チケットを買って来ているかがわかると、実情がよりわかると思う。
- ホームタウンチームの年間の試合数は毎年ほとんど固定であるため、他のイベントを増やすことで、ホームタウンチームを応援する機会が増え、試合の入場者も増加するのではないか。
- 最近、「する・見る・支える」に加えて、「つくる」スポーツという考えが出

できている。

- ギオンスタジアムは、陸上の全国大会を行うこともできるとても良い競技場でありながら、アクセスの悪さで全国大会の会場として立候補することができない。せつかくの良いスタジアムを、もっと活用してほしい。
- いただいた意見をもとに、検討していく。

以 上

## 相模原市スポーツ推進審議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	安井 年文	学識経験者（青山学院大学教授）	会長	出席
2	鈴木 秀知	学識経験者（桜美林大学教授）		出席
3	齋藤 仁美	学識経験者（トップアスリート）		出席
4	高橋 宏彰	公募市民		欠席
5	伊藤 明	公募市民		出席
6	西岡 直子	（一社）相模原市医師会		出席
7	三塚 康雄	（公財）相模原市スポーツ協会		出席
8	東條 久美子	相模原市立小・中学校長会 代表者会		欠席
9	佐々木 新悟	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
10	大山 孝	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会	副会長	出席
11	長澤 敬子	相模原市公民館連絡協議会		出席
12	吉原 君子	（特非）相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
13	三畑 義昭	総合型地域スポーツクラブ （（特非）ミハタ）		出席
14	山本 順己	ホームタウンチーム （相模原ライズアスリートクラブ）		欠席